

共テ難化で国公立大中後期志願者は減少、志願増の私立大は厳しい競争に 2026年度大学入試総括と次年度の展望を教育関係者のための情報サイトKei-Net Plusで公開

河合塾は、2026年度大学入試の結果総括、来春入学に向けた2027年度入試の展望をまとめ、教育関係者のための情報サイト『Kei-Net Plus』にて詳細レポートを公開しました。2026年度一般選抜は、新課程2年目となる共通テストの平均点ダウンもあり、国公立大で中期・後期日程志願者が減少しました。医学科では倍率が10年前から右肩下がり傾向が続いています。本リリースでは、これら一般選抜入試結果の分析と、2027年度入試の主なトピックについて、要点をご紹介します。

■ 2026年度一般選抜入試結果：共通テスト難化の影響と志願動向

2026年度の18歳人口は前年並み（約110.3万人）でしたが、共通テストの難化が受験生の出願行動を左右しました。

志願系統は法学部や経済学部といった社会科学系が人気で、薬学部や看護学部といった医療系の人気伸び悩みました。

- **国公立大**：前期日程の志願者数は前年比100%と横ばいでしたが、共通テストで得点が伸び悩んだ層が、倍率の高い中期・後期日程の出願を控える傾向が見られました。
- **私立大**：延べ志願者数は前年比110%と大幅に増加しました（図表1）。併願校数を増やしてリスクを分散する動きが強まった一方、年内入試の拡大や収容定員の管理など大学の合格者絞り込みにより、倍率が上昇、激しい競争になりました。

〈図表1〉私立大 一般選抜の入試結果（志願者増にもかかわらず合格者を絞り込む大学グループが目立った）

		志願者数		合格者数		倍率（志／合）		
		2026	前年比	2026	前年比	'25	'26	
全体		3,532,327	110%	986,520	95%	3.1	3.6	
一般方式		2,263,890	110%	549,512	95%	3.5	4.1	
共通テスト方式		1,268,437	110%	437,008	96%	2.5	2.9	
大学 グループ別	首都圏	早慶上理	230,396	108%	52,730	105%	4.3	4.4
		MARCH	424,253	104%	88,105	94%	4.4	4.8
		成成明國武	122,171	108%	26,950	98%	4.1	4.5
		日東駒専	321,089	112%	74,842	88%	3.4	4.3
		首都圏その他大	972,293	111%	270,694	92%	3.0	3.6
	近畿	関関同立	298,260	104%	82,739	96%	3.3	3.6
		産近甲龍	310,255	112%	71,919	96%	3.7	4.3
		近畿圏その他大	265,312	125%	85,110	107%	2.7	3.1
	その他地区の大学		588,298	111%	233,431	96%	2.2	2.5

※河合塾調べ（6/1現在、530大学判明分）

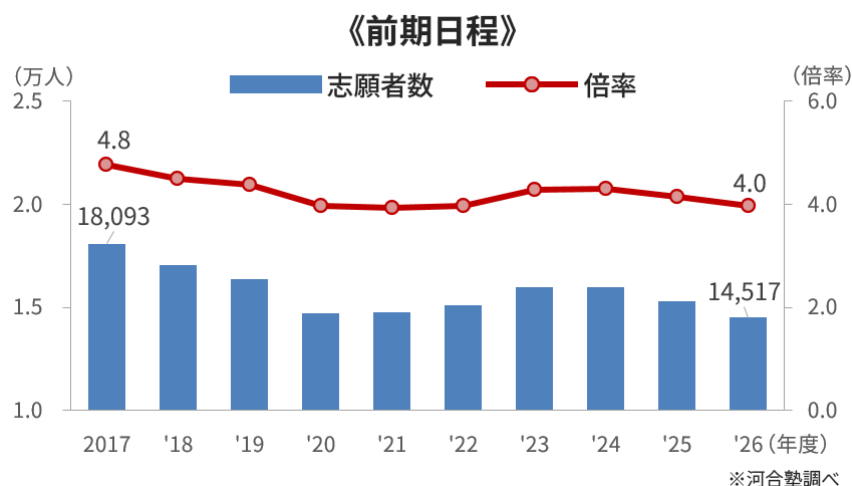
※早慶上理：早稲田・慶應義塾・上智・東京理科大学 MARCH：明治・青山学院・立教・中央・法政
成成明國武：成蹊・成城・明治学院・國學院・武蔵 日東駒専：日本・東洋・駒澤・専修
関関同立：関西・関西学院・同志社・立命館 産近甲龍：京都産業・近畿・甲南・龍谷

■ 医学科：国公立大の志願者減少・倍率低下傾向続く

近年人気の落ち着いている医学部医学科は、今春も志願者が集まりにくい状況が続いています。

- **倍率の低下**：国公立大前期の倍率は2017年度の4.8倍から今春は4.0倍まで低下しており、10年間の推移を見ても右肩下がり傾向となっています（図表2）。
- **背景**：医学科人気の落ち着きに加え、共通テストの難化によって受験生が慎重になったことが影響しています。私立大医学科でも志願者増は前年比104%にとどまり、私立大全体（110%）と比べれば、控えめな増加幅となりました。

<図表2> 国立大医学科 一般選抜の志願者・倍率（志願者÷合格者）の推移



■ 2027年度の展望：進む「理工系シフト」と新たな教育プログラムの登場

来春入試の主なトピックを挙げました。

- **2040年を見据えた理系拡大**：文部科学省は2040年までに大学定員のおよそ半分を理工農・デジタル・保健系とする目標を掲げています。これを受け、2027年度も情報系やサステナブル、半導体関連など、トレンドワードを冠した新学部・学環の設置が相次ぎます。
- **注目される新学部・新プログラム**：東京大（UTokyo College of Design）や東北大（ゲートウェイカレッジ）など、既存の枠組みにとらわれない新しい学部・教育プログラムが登場します。
- **入試ルールの変更**：公募制の総合型・学校推薦型選抜において、2027年度から「面接の実施」が必須化されます。

上記を含めて、地区別・学部系統別・大学グループ別の状況など詳しい内容は、教育関係者のための情報サイト「Kei-Net Plus」にて無料でご覧いただけます。

■ 関連記事

公開中

2026入試結果総括 志願者増・合格者減で私大入試は厳しい環境に

<https://www.keinet.ne.jp/teacher/report/kjreport/26/260615.html>

2026年度医学科入試結果総括

<https://www.keinet.ne.jp/teacher/report/kjreport/26/260623.html>

2027年度入試の展望 学部・学科の新設続く 定員の変化にも注意を

<https://www.keinet.ne.jp/teacher/report/kjreport/26/260629.html>

■ 報道関係者へのご案内

本リリースの引用・転載の際は出典として「河合塾 Kei-Net Plus」の明記をお願いいたします。また、弊塾担当者への解説・コメント取材も承ります。お気軽にご相談ください。

掲載サイト	Kei-Net Plus 教育関係者のための情報サイト
URL	https://www.keinet.ne.jp/teacher/
引用・転載	出典「河合塾 Kei-Net Plus」の明記をお願いいたします

－ 本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先・取材申込先 －

河合塾 経営戦略推進室広報センター 【TEL】 03-6811-5508

【E-mail】 press@kawaijuku.jp 【受付時間】 9:00～18:00（土日祝・年末年始を除く）